

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	仙台高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センダイコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高等専門学校
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップA
	学部・研究科等名	全専攻
	担当教職員名・役職	専攻科企画室及び国際交流委員会
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	27
	受入企業等数	36
	受入企業等名	シーエーシー、ナナイロ、東北大学、RSテクノロジーズ、中央製作所、アンデックス、仙台市、出光興産、東北電力、メタウォーター、大成建設、竹中工務店 等
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	従来型の就業体験型インターンシップに加え、課題解決型インターンシップを実施している。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		専攻科1年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2~6単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		専門の選択科目として開講しており、単位数は実習時間数により異なる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ先が遠方のため直接面談は行えないが、メール等により状況の把握及び学生の指導を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	専攻科のインターンシップであり、本科より高度な実習を行う等指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ報告会で発表を行わせ、その際に指導する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先が遠方のため直接面談は行えないが、メール等により状況の把握及び学生の指導を行っている。

要素④	4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	3. インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例: ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2. 「4. その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	シラバスにおいて、評価について記載、周知している。
要素⑤	5-1. 一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1. はい
	5-2. 該当する実施期間	1. 連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2. で「1. 連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習期間 2～6週間
	5-2. で「2. 事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. で「3. 複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2. 「4. その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	国内企業や海外の大学等い長期間継続して実習を行う。
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	派遣先から学生の実習について、評価を行ってもらっている。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=07
問い合わせ先	大学等名	仙台高等専門学校
	担当部署名	学務課学務係
	担当者役職名	学務係長
	担当者氏名	佐藤 司
	電話番号	022-391-5537
	メールアドレス	gakumu@sendai-nct.ac.jp